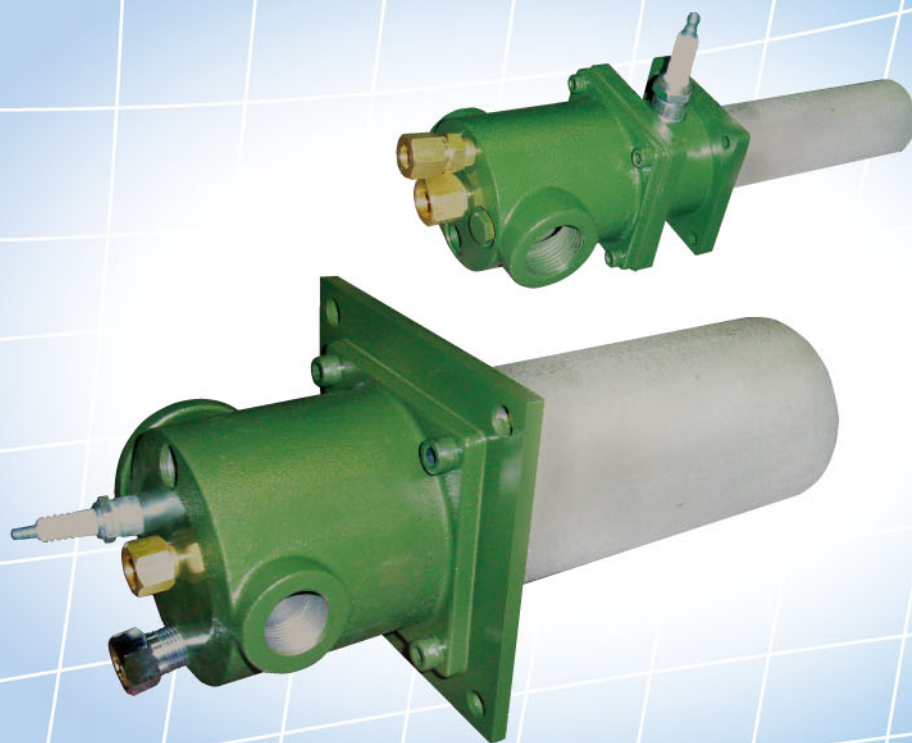


NARITA

メタリックバーナ

MJP-20K MJP-50K MJP-100K MJP-200K MJP-400K



●特長

- ・バーナ本体が金属製の為、機械的な強度に優れておりコンパクトで軽量です。
(SUS310Sストレート燃焼筒を採用)
- ・先混合方式を採用していますので、逆火現象もなくターンダウン比も大きくとれます。
(ターンダウン比は標準で1:10~1:5)
- ・低燃焼時での燃焼範囲が広く、過剰エアでも使用できます。
(但し、高燃焼時での空気比は $m=1.2$ 程度となります)
- ・低温域から高温域(900℃程度)まで使用できます。

●おもな用途

- ・ 各種熱処理炉 ・ 加熱炉 ・ ベル型炉 ・ 非金属の溶融

●制御

- ・ 標準制御方式はダブルリンケージ方式とします。
- ・ High-Low制御も可能です。(但し、ターンダウン比1:5)

NARITA グループ会社概要 Outline of NARITA Group Companies

□ 株式会社ナリタテクノ

本 社 〒489-0063 愛知県瀬戸市上陣屋町20番地
TEL : 0561-21-1111 FAX : 0561-21-1112
ホームページ <http://www.naritatechno.co.jp/>
メールアドレス info@naritatechno.co.jp

□ 株式会社成田製作所

本 社 〒613-0035 京都府久世郡久御山町下津屋富城91 TEL:0774-43-5811 FAX:0774-44-1103
ホームページ <http://www.narita-mfg.co.jp/>
メールアドレス narita-info@narita-mfg.co.jp

□ 株式会社成田製陶所

山 口 工 場 〒489-8680 愛知県瀬戸市大阪町333 TEL : 0561-82-6138 FAX : 0561-84-9677
本 社 〒489-8680 愛知県瀬戸市道泉町70 TEL : 0561-82-9172 FAX : 0561-82-9319
ホームページ <http://www.naritaseitosh.co.jp/>
メールアドレス webmaster@naritaseitosh.co.jp

●仕様 (13A・LPG共用)

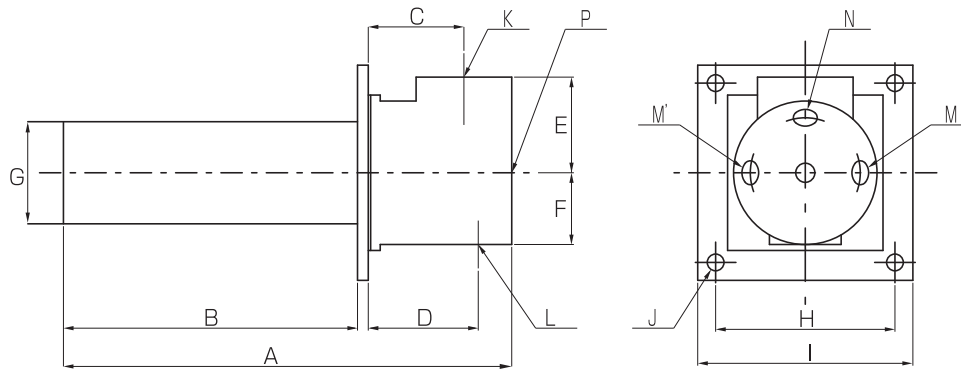
機種		MJP-20K	MJP-50K	MJP-100K	MJP-200K	MJP-400K
標準インプット(kW)		21	53	105	210	420
T.D.R		1:3	1:5	1:10	1:10	1:10
標準エア圧(kPa)		10	10	10	10	10
標準ガス圧(kPa)		10	10	10	10	10
外形寸法	A (mm)	299	298	328	379	379
	B (mm)	160	200	230	250	250
	C (mm)	104	63	56	80	80
	D (mm)	109	68	66	92	92
	E (mm)	50	50	55	80	80
	F (mm)	45	45	50	60	60
	G (mmφ)	^{※3} 48.6(40A)	60.5(50A)	76.3(65A)	89.1(80A)	114.3(100A)
取付寸法	H (mm□)	^{※1} 66.5	99	106	150	150
	I (mm□)	80	120	130	180	180
	J (取付ボルト穴)	^{※1} 4-φ7	4-φ12	4-φ12	4-φ14	4-φ14
接続径	K (エア)	Rc 25A	Rc 25A	Rc 40A	Rc 50A	^{※2} Rc 50A
	L (ガス)	Rc 15A	Rc 15A	Rc 20A	Rc 25A	^{※2} Rc 25A
	P (二次エア)	Rc 10A	Rc 10A	Rc 10A	Rc 10A	Rc 10A
	M (覗き窓)	Rc 8A	Rc 8A	Rc 10A	Rc 15A	Rc 15A
	M' (炎監視)	Rc 8A	Rc 8A	Rc 10A	Rc 15A	Rc 15A
	N (点火プラグ)	^{※1} M14 P=1.25	M14 P=1.25	M14 P=1.25	M14 P=1.25	M14 P=1.25

※1 20Kのみ外形, 取付方法, 点火プラグ等、特殊なので注意して下さい。

※2 400Kの配管はバーナヘッドを出てすぐにエアは3B, ガスは1½に拡大して下さい。

※3 燃焼筒外形寸法

●外形図



●注意点

- ・エアのバーナヘッド圧は低いですが、ブロワの供給圧力は10kPaを標準にしています。
- ・使用ガス供給圧力は10kPaを標準にしています。
- ・比例制御の場合、ターンダウン比1:3以下では低燃焼時に過剰空気燃焼になる様に調整をして下さい。
- ・排気は必ず屋外に強制排気する様にして下さい。
- ・低燃焼着火用のパイロットガスラインを設けることを推奨します。
- ・エア・ガスラインに流量測定用オリフィスを入れ流量管理をして下さい。
- ・炎監視は紫外線光電管を使用して下さい。
- ・紫外線光電管がバーナ前方の炉内を見る為、炉内にバーナ以外の火炎が存在する設備や対面に他のバーナ火炎の存在する設備での使用は御遠慮願います。
- ・点火スパークによる炎監視の誤認を防止するシーケンスを組んで下さい。
- ・点火トランスは7kV以上、200VA以上の容量のものを使用して下さい。